

いけんちんじゅつようし
意見陳述要旨

ねん がつ にち
2020年3月17日

げんこく きた さぶろう かめい
原告 北 三郎 (仮名)

わたし ねんかんゆうせいひがいしゃ くる かな
私は62年間優生被害者として苦しみ悲しみをのりこえてきました。
くる しあわ きず おも けっこん
苦しみをのりこえ 幸せを築こうと思い、結婚だけはするつもりはありませんで
したが、けっこん
結婚をしたばかりに苦しみだけがおそいかかって 幸せな人生ではあり
ませんでしたが、つま さき い
妻にも先だたれ、生きるのぞみもなくなってしまう、どうすること
もできません。ゆうせいしゅじゅつ う ほか ひと まご
優生手術を受けていなかったら他の人とおなじように、孫に
しあわ かてい きず おも
もかこまれて 幸せな家庭を築けていたのだらうと思います。

おや わたし からだ おや
親が私の体にこんなむごいやりかたをしたのだと親をうらんできました。そ
のため いちど おや はかまい
の一度も親の墓参りをしてきませんでした。さいばん お あと ねえ おや
の墓参りを一緒にしたとき、姉さんから、親が私の体に子どもをもつことがで
きないようにしたのではない、おや わたし からだ こ
親が私をにくくて手術をしたのではないと教
えてもらいました。おや をうらんできたのはごかい だつた おも くに
手術をしたのか、とおも
思うようになりました。

うむ、うまないはほんにん じゅう くに い わ
うむ、うまないは本人の自由なのに、なぜ国がメスを入れるのか分かりません。
ほうりつ ふりよう しそん しゅつせい ふせ しゅじゅつ か
法律には、不良な子孫の出生を防ぐために手術をすると書いてあります。
しゅじゅつ う ひと ゆめ きぼう くる い
手術を受けた人は、夢も希望もなくなり、ただ苦しんで生きていかなければな
らなくなります。その人の人生をかながえれば、このような法律は作らないので
はないかとおも
思います。

しょうがい ひと こ ほう くに ふたん おも ひと
障害のある人や、子どもがうまれてこない方がいい、国の負担だと思ふ人をね
らって、くに い い まちが おも
国がメスを入れることは間違ったことだと思ふ
とても悔しい気持ちです。

さいばん お 起こしてから、ひがいしゃ たいせい し わたしひとり なや 悩んでいるんじゃない、おおぜいなや ひと 大勢悩んでいる人がいるんだから、その人たちに声をかけてできるだけ名のりをあげてほしいというきもちで、かお だ 顔を出しました。おうえん 応援してくださっているひと たちがいるから、ゆうき だ 勇気を出すことができました。

さいばん お 起こした人はまだ20人くらいです。ぼちぼちですが名のりをあげる人が出てきてくれたと思いますが、こえ をあげにくい問題だと思います。しろ め でみられるからと思う人も多いと思います。でもその人たちは何も悪くありません。もっと多くの人に声をあげてもらうためにかつどう をしていかなければいけないとおも っています。

ひとりひとりなや ちが おも 一人一人悩みは違うと思うけれども、くに にはひがいしゃ む あ 被害者としてしっかり向き合って、どんなくろ い かしい生き方をしたか、はなし き 話を聞いてほしいです。そして、あやま 謝ってほしいです。

くに このさいばん で、20年たったらけんり がなくなるといっていますが、くに がそういうことを言うのは、あまりにもざんこく ではないかとおも います。

こ どもがうまれなくなるしゅじゅつ をしたということは、つま にもかぞく し 妻にも家族にも知られたくない手術でした。知られたら離婚と言われるのではないかと思ってました。そのけっか つま かぞく くる 結果、妻や家族を苦しめることになりました。それでも言えませんでした。

ゆうせいほごほう というのもまったくし 知りませんでした。

いま うった えていることに対して、そのようなことをくに からいわれると、なに も言えなくなります。たちば 立場がありません。

さいばん ねえ はなし 裁判で、姉さんにも話をしてもらいました。

ねえ ま こ もう わけ おも 姉さんも巻き込んでしまって、申し訳ないという思いです。

60何年間、なんねんかん むね なか き 胸の中にしまっていたと聞いて、ねえ 姉さんもかなり苦しんでいたんだと思います。私 わたし ねえ あそ い さんが姉さんのところに遊びに行ったときにも言えなかったと聞いて、ねえ くる おも 姉さんを苦しめていたんだなと思っています。

さいばん お 起こしてからにねん ねんげつ 二年の年月がたちます。

こんなに^{おおぜい}大勢^{ひと}の人たちが^{おうえん}応援^{ほんとう}してくださって、^{こころづよ}本当に心強^いいです。

^{さいきんしゅわ}最近手話を^{はじめ}しました。

^{さいばん}裁判^{しゅうかい}や集^{まいかいしゅわ}会^{せんせい}に、毎^き回手話の先生たちが^き来てくださっています。

^き聞こえない人たちに^{ひと}少し^{すこ}でも話^{はなし}ができれば^{おも}と思い、^{ちいき}地域^{しゅわ}の手話サークルに^{かよ}通^{はじ}い始め^{はじ}ました。

^{ささ}支えられながら^{つづ}続けて^{さいばん}こられた裁判^{はんけつ}です。いよいよ判決^{はんけつ}です。

^{おおぜい}大勢^{ひと}の人が^{くる}苦しんで^{たい}いること^{さいばんかん}に対して、裁判官^{すこ}が少し^{わたし}でも私^{みかた}たちの味方^{おも}になっ^{おも}てくれれば^{おも}いいなと思^{おも}っています。

どうか^{せいぎ}正義^{こうへい}と公平^{はんだん}な判断^{ねが}をお願いします。

いじょう
以上